

港湾事業 淡路交流の翼港〔楠本地区〕 利便性向上事業

位置図



目的

- ・港湾施設の被災による利用制限防止
- ・係留可能な船舶の増加による利用者の増加

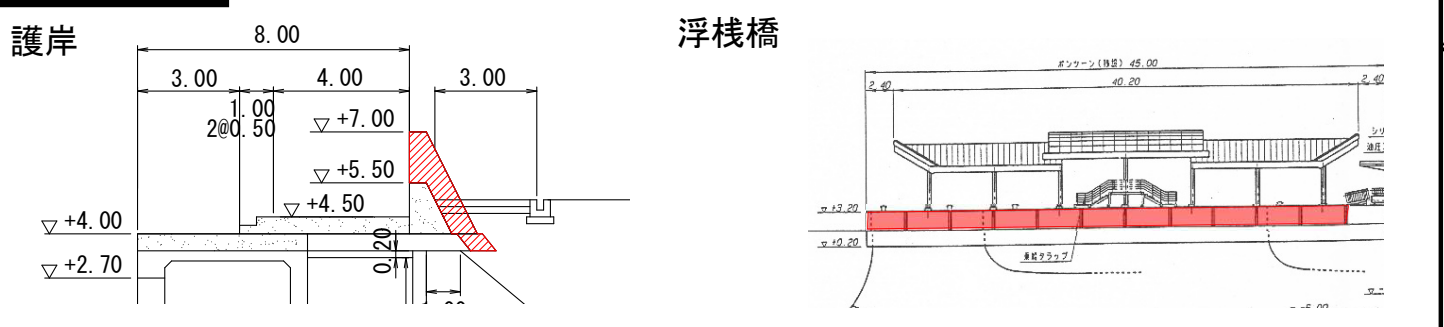
事業概要

事業区間：淡路市楠本
 総事業費：3.0億円
 内用地補償費：—
 事業期間：R5～R7
 事業概要：護岸嵩上げ L=190m
 浮棧橋改良 1式
 費用便益比B/C：4.9

工程表

工種	年度		
	R5	R6	R7
調査・設計			
護岸嵩上げ			
浮棧橋改良			

横断図



事業の必要性・優先性

- ①越波による被災防止(立屋が被災(H30年)した際は、約1年間港が利用停止となった)
- ②コロナ以前は年間約600隻の利用がある
- ③浮棧橋の改良により、係留可能な船舶が増加し新たな利用者の確保やそれに伴う背後地域の活性化につながる

写真

①ターミナル被災状況(H30年)



越波による浸水・破損

越波による外壁・内部破損

②屋外トイレ被災状況(H26年・H30年)



⑤浮棧橋現状



③護岸被災状況(H26年・H30年)



⑥護岸現状



平面図



凡例

- 淡路夢舞台
- グランドニッコー淡路
- 国際会議場
- ターミナル

出典: 国土地理院ウェブサイト